

予算議会での日本共産党の質問などを紹介します

子ども医療費

中3まで無料にせよ



日本共産党の宮本秀国市議は、3月7日、予算議会代表質問の補足質疑をおこない、子どもの医療費無料化拡大を求めました。

などというが、全国で最低水準の遅れた状況だ」と追及。保健福祉局長は「周知市町村に留意する」などと苦しい言い訳をしました。

政令市の中でも最も遅れている福岡市

子ども医療費無料化について、20ある全国の政令市で、福岡市の対象年齢を上回っている都市が入院費では16市、通院費では15市です。

他政令市の無料化

20ある政令市のなかで……
【入院費】
 ●中3まで無料は16市
 ●福岡市は小6まで無料
【通院費】
 ●就学年齢以上が無料は15市(うち中3まで6市、小6まで2市)
 ●福岡市は就学前まで無料
 ※他市では所得制限ある市も含む

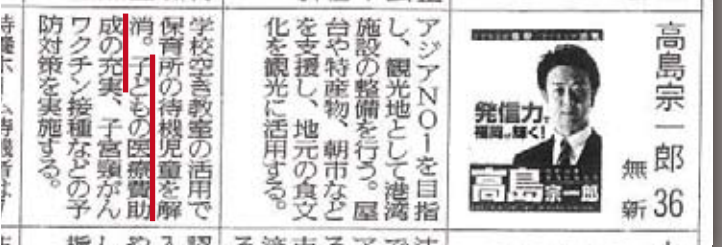
福岡市では歯科検診で「要治療」とされたのに治療が終わっていない児童生徒が2万6900人にものぼっているとの調査もあります。

市長は「他施策、財源や他都市の動向をふまえて検討する」と答えるのみでした。

市長の公約違反追及

宮本市議は市民団体「ふくおか子ども医療を守る会」の調査を紹介し、「医療費負担を考えて医療機関の受診を躊躇・中断したことがあるか」との問いに就学前の子どもの親では7.6%だったのに、小学生以上の子どもの親では37.2%にのぼっている事実をつきつきました。

市長は「充実」公約していた



2011年11月12日付「読売」より



市が発表した「民間賃借」方式のイメージ (福岡市「報告 少年科学文化会館の移転再整備について」)

少年科学文化会館

民間賃借方式やめ 市が直営で責任を

市長は、六本松九大跡地に移転する同施設について、民間のビルに間借りする「賃借方式」を導入する案を発表。日本共産党の星野美恵子市議は、3月19日この問題で質問しました。

星野市議が直営建設よりも賃借方式の方が経費節減になるとされる根拠試算を明らかにせよと追及すると、ことも未来局長は答弁を拒否。審議がストップしました。



たうえて、「30年と仮定した場合、賃借なら260億円、直営なら300億円」と答弁しました。

星野市議は、市長がすでに数日前からブログで「30年間で約40億円を節約」などと書いている事実をつきつけ、根拠を追及。市長は「たとえた」が「賃借」などとまともに答弁できませんでした。子ども病院移転のさいに建て替え費用を水増しした試算で人工島移転を決定した問題で、調査委員会から猛省を促されたやり方そのものだと星野市議から厳しく追及されると、市長は「配慮は必要だった」と言い訳しながらも、謝罪を拒否しました。

学校の体罰

なくすために必要なことは……

3月21日、中山いくみ市議は、市議会条例予算特別委員会の総会質疑で、学校での体罰をなくす問題について質問しました。

実態把握できない 市教委の調査

学校の体罰をなくす問題では、市の調査では昨年5件しか報告がなく、新たに行ったアンケートでも記名式となつているなど、児童生徒が正直に答えにくい問題をたどりました。実際に市内の学校で、正座した生徒の腹部を3発蹴ったケースなどを

指摘しましたが、市教委は把握していないことが明らかになりました。

常設の第三者機関や現場教員が自主的に話せる時間・体制を

中山市議は、学校が体罰の存在を認めない事例を紹介し、常設の第三者機関を設置せよと要求。また、現場では進学率や部活動の実績をあげる強いプレッシャーをうけて、教師からゆとりが奪われているとして、自主的に教師たちが考えられる時間・体制の確保を求めました。

星野市議が直営建設よりも賃借方式の方が経費節減になるとされる根拠試算を明らかにせよと追及すると、ことも未来局長は答弁を拒否。審議がストップしました。

議事再開後、局長は「一定の前提条件をおいた内部資料で、いくつもの試算があり、精査する必要がある」とし

星野市議が直営建設よりも賃借方式の方が経費節減になるとされる根拠試算を明らかにせよと追及すると、ことも未来局長は答弁を拒否。審議がストップしました。

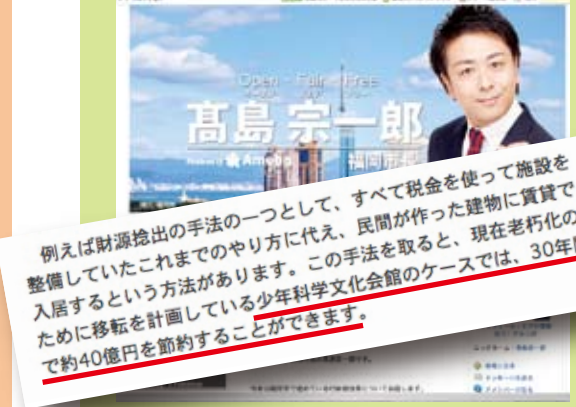
議事再開後、局長は「一定の前提条件をおいた内部資料で、いくつもの試算があり、精査する必要がある」とし

星野市議が直営建設よりも賃借方式の方が経費節減になるとされる根拠試算を明らかにせよと追及すると、ことも未来局長は答弁を拒否。審議がストップしました。

議事再開後、局長は「一定の前提条件をおいた内部資料で、いくつもの試算があり、精査する必要がある」とし

市政の重要な政策課題の意思決定を行うに当たって、透明性を確保し、市民への説明責任を果たすことが不可欠なことは言うまでもない

子ども病院調査委の批判をうけ、高島市長自身が市職員に出した通知



高島市長の公式ブログ (3月9日) より

「賃借の方が安い」の言い分成り立たない

星野市議は、公共の建物を70年活用する市の方針にのっとれば、30年間で比較するのは間違いであり、直営ならば償還後は負担が大きく減り、土地も残る事実をつきつけ、「間借り方式の方が安い」とおぼろげな言い分を突き崩しました。そのうえで、公的責任が保てず全国に例のない民間間借り方式をやめるよう要求。5万をこえた署名にこたえて、文化ホールと科学館を一体にした施設を、六本松に市が直営で整備せよと迫りました。

日本共産党の質問 あらかると



質問する綿貫英彦市議

大規模な学童保育の解消を

日本共産党の綿貫英彦市議は留守家庭子ども会(学童保育)について質問。国の基準70人をこえる施設が市内で82カ所もあり、大規模施設を分割し必要人数の指導員をそれぞれ配置するよう迫りました。また、学童指導員は専門性の高い仕事であるにもかかわらず、月収20万円ほどにしかならず、賃金の改善、配置基準の充実を求めました。

障害者作業所の補助充実を

また、綿貫市議は障害者の小規模作業所への聞き取りをもとに、実利用人数が少なくなれば補助がうけられなくなるなど、運営の厳しい実態をつきつけ、補助額の引き上げを求めました。この他、まったく足りない療育センターの増設などを要求しました。

首都機能バックアップを福岡市に誘致するな

宮本秀国市議は、高島市長が災害時の首都機能のバックアップを福岡市に誘致しようとしていることについて、国の担当者からの聞き取りをもとに、福岡市が首都機能移転と勘違いして熱心な誘致活動をくり返しているのではないかと質問。ハコモノ目当ての思い込みで突っ走っている誘致をやめるよう求めました。

賃上げでデフレ脱却を

星野美恵子市議は、民間の賃上げを市内大企業に要請するよう市長に迫りましたが、市長は拒否しました。市職員の賃下げを国が求めたことに対し、市長会が国の対応を批判する中で、高島市長だけが国に同調した異様さを指摘。賃下げをやめるようただしました。

意見書も提案

日本共産党は「賃上げのための取組強化を求める意見書」を市議会に提案。共産党のほか、民主、社民が会派としては賛成しましたが、自民、公明、みらい、維新などが反対し、否決されました。



政府が賃上げの手だてをとるよう求める意見書を提案する熊谷あつ子市議

自民・公明・維新が反対

提出された意見書案

- は共産党立案、○はその他
- 賃上げのための取組強化を求める意見書案(否決=左記事参照)
- 微小粒子状物質(PM2.5)への対策の強化に関する意見書(全会一致で可決)
- 中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書(全会一致で可決)

会派名	日本共産党	自由民主党	公明党	民主市民クラブ	みらい福岡	社民市政クラブ	維新・無所属	みんなの党
主な議案賛成=○ 反対=●								
2013年度一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○
市職員賃下げ条例改定	●	○	○	○	○	●	○	○
副市長(貞州氏)	●	○	○	○	○	○	○	○
副市長(中国氏)	●	○	○	○	○	○	○	○

※日本共産党は予算議会でも市長提案の66件の議案のうち37件に賛成、29件に反対(賛成率56%)。

主な議案への賛否

件名	請願者
生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書の議決について	福岡県生活と健康を守る会福岡市協議会
朝鮮学校への補助金の継続について	排外主義にNO!福岡
非婚母子世帯への支援について	特定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡
非婚母子世帯に専婦除をみなし適用し、市営住宅の家賃を他の母子世帯と同等に算定することについて	同上
人工島関連予算案の否決について	博多湾会議
治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書議決について	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

新たに提出された請願

予算議会レポート



おかしくないですか

巨大開発の財源づくりのために市民施策きりすてなんて…

日本共産党市議団の3月の予算議会の論戦を紹介します。

予算議会での日本共産党の追及により、下記のような巨大開発は行革対象になっておらず「聖域」化されていることが明らかになりました。



巨大プロジェクト見直しと市長をたがす宮本秀国市議 (3月7日)

破綻した人工島事業
今後さらに**824億円**

天神・博多駅・ウォーターフロント再開発
今後さらに**???億円**

予算議会で、日本共産党の宮本秀国市議は、天神・博多駅など都心の再開発について質問。思惑がはずれて集客できず、再開発ビルが空いたところを市が税金を使い穴埋めする——下川端再開発の失敗をくり返すと警告し、事業費さえわからない無謀な再開発の中止を求めました。

人工島への高速道路延伸
数分短縮に**250億円**

市は、人工島に高速道路を延伸しようとしていますが、必要も採算も見込めないため高速道路公社が整備をせず、市が事実上単独で整備にのりだそうとしています。

2.5キロの整備に250億円もかけ、完成しても数分の短縮にしかならなりません。日本共産党は「行革というならこの事業こそやめよ」と求めました。



巨大開発 何も見直さなないのか

なくそうとしている市立幼稚園の運営費は年2・7億円、待機児がいっぱいの保育園整備は1カ所5億円でやるのよ…

日本共産党 福岡市議団

高島市長は「重要事業の推進や新たな課題への対応のために使える財源が大幅に減少」として、4年間で851億円の財源不足が生じるとの試算のもとで「行財政改革プラン」をうちだしました。

その一つとして市立幼稚園の全廃をうちだしました。この問題について、3月議会の条例予算特別委員会の総会・分科会質疑で日本共産党の中山いくみ市議が論戦。

中山市議は、市と市教委がもちだした「廃止」の論拠を一つひとつ検証。まったく道理がないことが浮き彫りとなりました。

市側の廃園の論拠、共産党の反論

- 市「包括外部監査で指摘された」**
→外部監査では「廃園」ではなく、公私の区別を明確化してこなかった市の怠慢を批判している。
- 市「市立園は老朽化、建て替えは8億円も」**
→鉄筋コンクリート造りの市立園の場合、学校と同じ基準ならあと20年はもつ。
- 市「低保育料メリットを特定地域だけ享受」**
→費用の安い市立園をなくし「平等」にするというのは教育の機会均等を奪う逆立ちしたやり方。
- 市「私立の園でやればよい」**
→私立では受け入れてもらえなかった障害児を市立園が受け入れたケースもある。市立だからこそ果たせる役割がある。

園児の親の声につけ

中山市議は「市立が素晴らしいから選んで通わせている」という市立園の父母から聞き取った生の声を直接市につけ、「廃園はその選択肢を奪うのではないかと」追及。

「この幼稚園が大好き。絶対に廃園にさせたくない」というお母さんの願いを読み上げ、廃園検討をやめるよう迫ると、高島市長も教育長も「民間でやるものは民間に委ねるとい方針のもと、廃園が適当。パブリックコメントを行い検討して行く」とくり返すことしかできませんでした。



市長を追及する中山いくみ市議 (3月21日)

予算議会報告

市立幼稚園 廃園計画

市の言い分 成り立たず

市民いじめの高島「行革」徹底論戦

スポーツ大会開催補助金と私立高校補助金のカット

撤回させた

日本共産党 福岡市議団

代表質問をする星野美恵子市議 (3月5日)



私学助成を削減する市の行革プランについて 県私学協会・保護者と懇談しました (昨年12月)

日本共産党福岡市議団は、3月の予算議会で、星野美恵子市議が代表質問。この中で、高島市長がうちだした「行財政改革プラン(素案)」では、私学助成について「廃止に向けた検討」がされることになっていましたが、星野市議は計画の撤回を要求。私学関係者も廃止反対の声をあげていました。

こうした声におかれて、市長は「私立高等学校については、引き続き助成をおこなう」と答弁せざるをえませんでした。

また、金鷲旗玉竜旗高校柔剣道大会などスポーツ大会開催補助金についても、同プランでは削減をうちだしていましたが、星野市議は削減をやめるよう迫りました。

市長は「必要な助成を行う」と答え、新年度の各局の行革対象のリスト(行財政改革プラン各局区室改革実行計画)からもはずされました。

徹底論戦 市民いじめの高島「行革」

信頼関係こわす「行革」ただす

高島市長の意をうけた財政局は、特別支援学校に通う子どもたちのスクールバスについても、現在は嘱託員の乗員を臨時職員に替えて経費を2000万円削減するよう求めました。

これに対し所管である市教育委員会は「子どもや保護者との信頼関係のもとで働いており、短期の雇用では関係の醸成は困難」と反論しました。

それをうけても、財政局は、なお、民間委託で経費を削減するよう迫りました。

特別支援学校 スクールバス



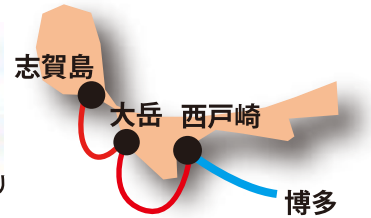
特別支援学校のスクールバス

固執する市長

日本共産党の星野美恵子市議は、この問題を総会質疑でとりあげ、「民間委託では、子どもたちの安全に責任をもつ人材の確保が不安だ。なにに平成26年度から実施をめざすと財政局は言っている。こうした『行革』は撤回せよ」と求めました。

高島市長はプランの実行に固執しました。

関係者の不安の声を聞いても、なお切り捨て



志賀島 渡船 廃止・減便 やめよ

高島市長は、志賀島の市営渡船を減便(上図の赤色の部分)、最終的に廃止(上図の水色の部分)することを「行財政改革プラン」でうちだしました。

この問題について、市議会の条例予算特別委員会の総会質疑で日本共産党の星野美恵子市議が質問しました。

地元の反対の声聞け

星野市議は、市長の意を受けた財政局と、関係住民の声を一定反映した所管局のやりとりが載った「スプリング・レビュー」をとりあげました。

財政局が志賀島渡船事業の「減便・廃止」の検討を求めたのに対し、所管の港湾局は「地元の反対が強い」と難色を示したにもかかわらず、さらに財政局が「航路全廃を見据えた見直し」を要求しています。

星野市議はこの経過を暴露し、「長年かかってつくられた交通網を市長がとりあげようとしている。血も涙もない。減便・廃止をやめよ」と市長に迫りました。

日本共産党福岡市議団

- 宮本 秀国** 市議団団長 (南区)
 - 星野 美恵子** 市議団副団長 (中央区)
 - 中山 いくみ** 市議団幹事長 (早良区)
 - 熊谷 敦子** 市議会議員 (西区)
 - 綿貫 英彦** 市議会議員 (東区)
- 生活相談は ☎ 711-4734